

# 国 語

## (現代文A)

発行者の番号略	教科書の記号番号	判 型	総ページ数	検定済年
17 教出	現A302	A5	256	平成25年
15 三省堂	現A303	B5	144	平成26年
50 大修館	現A304	A5	262	
2 東書	現A306	A5	272	平成29年
183 第一	現A307	A5	328	

※総ページ数は、目録に記載されている数

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

現代文 A					冊数	5冊
発行者の略称・ 教科書の番号	教出302	三省堂303	大修館304	東書306	第一307	

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【国語の目標】

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

### 【現代文Aの目標】

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

### 【現代文Aの内容及び内容の取扱い】

「内容」の抜粋	「内容の取扱い」の抜粋
<p>ア 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。</p> <p>ウ 文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p> <p>エ 近代以降の言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、言語文化について理解を深めること。</p>	<p>(1) 文章を読む楽しさを味わったり、近代以降の言語文化に触れることの意義を理解したりすることを重視し、読書への関心を高め、読書の習慣を付けるようにする。</p> <p>(2) 教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>ア 教材は、特定の文章や作品、文種や形態などについて、まとまりのあるものを中心として適切に取り上げること。</p> <p>イ 教材は、近代以降の様々な種類の文章とすること。また、必要に応じて実用的な文章、翻訳の文章、近代以降の文語文及び演劇や映画の作品などを用いることができること。</p>

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a 近代以降の文学的な文章教材の数と文章教材に占める割合（作品名と作者名は「別紙2」）	内容ア《文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。》 内容イ《文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。》	個、%
b 近代以降の説明的な文章教材の数と文章教材に占める割合（作品名と作者名は「別紙2」）	内容ア《文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。》	個、%

##### イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

###### ① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項

<上記調査項目関連>

- a 近代以降の文学的な文章教材の作品名と作者名
- b 近代以降の説明的な文章教材の作品名と作者名

<その他>

- \* 北朝鮮による拉致問題の扱い（調査の結果、記載のないことを確認した。）
- \* 防災や、自然災害の扱い
- \* オリンピック、パラリンピックの扱い

###### ② 具体的に調査研究する事項を設定した理由等

- ・ 高等学校学習指導要領では、現代文Aの「内容」として、「文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。」及び「文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。」と示されているため、どのような文章がどの程度掲載されているかを調査する。
- \* 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- \* 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- \* 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。

#### (2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 近代以降の言語文化に関わる教材の扱い方
- ② 読書指導に関わる教材の扱い方
- ③ 実用的な文章、翻訳の文章、近代以降の文語文、演劇や映画に関わる文章など、近代以降の様々な文章教材の扱い方
- ④ 編集上の工夫・その他

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(現代文A)

調査項目			a		b		(文章教材として 数えた数の合計)
			個	%	個	%	
発行者	教科書番号	教科書名	個	%	個	%	
教出	302	現代文A 青春文学名作選 —歴史の中の青春	14	73.7	5	26.3	19
三省堂	303	現代文A	4	36.4	7	63.6	11
大修館	304	現代文A	12	46.2	14	53.8	26
東書	306	現代文A	13	56.5	10	43.5	23
第一	307	高等学校 改訂版 新編現代文A	14	53.8	12	46.2	26
平均値			11	54.3	10	45.7	

- ・a及びbは調査対象を本編の文章教材とし、教材を補足する文章や資料、付録等については文章教材として数えず、その扱いを「別紙3」に記述した。
- ・aの近代以降の文学的文章については、小説(又は小説の一部)の1作品を1教材として数えた。
- ・aのうち、近代以降の詩については1編を1教材として数えた。
- ・aのうち、近代以降の短歌や俳句については教科書の編集上の一つのまとまり(例:「短歌0首」として十数首を1教材として編集したもの)を1教材として数えた。  
また、短歌を紹介、解説している文章については、教科書の編修意図を考慮して分類した。
- ・bの近代以降の説明的な文章については、評論や随想などの教科書中に掲載された1部分を1教材として数えた。
- ・上記a及びbで数えた教材については、「別紙2」に教材名等を記述している。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導について編集されたものについては、文章教材として数えず、その扱いを「別紙3」に記述した。

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出302】 (現代文A)

a 近代以降の文学的な文章教材の作品名と作者名				b 近代以降の説明的な文章教材の作品名と作者名	
文学的な文章		詩歌		説明的な文章	
作品名・教材名	作者名	作品名・教材名	作者名等	作品名・教材名	筆者名等
鏡	村上春樹	喪失ではなく	吉原幸子	言葉を友人に持とう	寺山修司
他人の夏	山川方夫	死んだ男	鮎川信夫	美しい時間	加藤周一
白鳥	三島由紀夫	夜明け前のさよなら	中野重治	人生	芥川龍之介
空缶	林京子	汚れっちまった悲しみに…	中原中也	旅について	三木清
女生徒	太宰治	みだれ髪(短歌10首)	与謝野晶子	私の個人主義	夏目漱石
悟浄歎異	中島敦	一握の砂(短歌10首)	石川啄木		
伊豆の踊子	川端康成				
舞姫	森鷗外				
文学的な文章	8	詩歌	6	説明的な文章	5
文学的な文章(詩歌含む)			14	近代以降の文章合計	19

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 三省堂303】 (現代文A)

a 近代以降の文学的な文章教材の作品名と作者名				b 近代以降の説明的な文章教材の作品名と作者名	
文学的な文章		詩歌		説明的な文章	
作品名・教材名	作者名	作品名・教材名	作者名等	作品名・教材名	筆者名等
アマガエル	太田光			求めるものに応じてくれる	三浦しをん
旅する本	角田光代			最初のペンギン	茂木健一郎
夢十夜	夏目漱石			眼差しを交わす喜び	高畑勲
山月記	中島敦			絶え間のない流れの中にある生命	福岡伸一
				境目	川上弘美
				モード化する社会	鷲田清一
				人はなぜ働くのか	姜尚中
文学的な文章	4	詩歌	0	説明的な文章	7
文学的な文章(詩歌含む)			4	近代以降の文章合計	11

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 大修館304】 (現代文A)

a 近代以降の文学的な文章教材の作品名と作者名				b 近代以降の説明的な文章教材の作品名と作者名	
文学的な文章		詩歌		説明的な文章	
作品名・教材名	作者名	作品名・教材名	作者名等	作品名・教材名	筆者名等
ざしきわらし	よしもとばなな	小諸なる古城のほとり	島崎藤村	「迷う」力のすばらしさ	石田衣良
青が消える(Losing Blue)	村上春樹	落葉	ベルレーヌ/上田敏訳	どんな人になりたかったか?	大江健三郎
山月記	中島敦	小景異情	室生犀星	排球、そして千利休	川上弘美
その夜のコニャック	遠藤周作	六月	茨木のり子	敬語への自覚、他者への自覚	橋本治
こころ	夏目漱石	短歌(二十首)	正岡子規	ウサギの耳はなぜ長い?	上田恵介
高瀬舟	森鷗外		長塚節	人工の自然—科学技術時代の今を生きるために	坂村健
			与謝野晶子	和の思想、間の文化	長谷川權
			北原白秋	文化と理解	船曳建夫
			斎藤茂吉	幸せの分量	立松和平
			石川啄木	夢を建てる人々	林望
			前田夕暮	情報の力関係	佐藤雅彦
			会津八一	ものとことば	鈴木孝夫
			寺山修司	家族化するベット	山田昌弘
			俵万智	「検索」時代における読書	藤原智美
		俳句(二十二句)	高浜虚子		
			水原秋桜子		
			山口誓子		
			中村草田男		
			石田波郷		
			加藤楸邨		
			中村汀女		
			種田山頭火		
			尾崎放哉		
			金子兜太		
			鷹羽狩行		
文学的な文章	6	詩歌	6	説明的な文章	14
		文学的な文章(詩歌含む)	12	近代以降の文章合計	26





「別紙2-2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 防災や、自然災害の扱い】(現代文A)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方(本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
教出	302	現代文A 青春文学名作選 —歴史の中の青春	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
三省堂	303	現代文A	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
大修館	304	現代文A	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
東書	306	現代文A	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	巻末年表	日本 近代 現代 文学史年表	一九二三 関東大震災、一九九五 阪神・淡路大震災、二〇〇四 スマトラ沖地震、二〇一一 東日本大震災
第一	307	高等学校 改訂版 新編現代文A	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	巻末年表	近現代文学史年表	一九二三 関東大震災、一九九五 阪神・淡路大震災、二〇〇四 新潟中越地震 スマトラ沖地震、二〇一一 東日本大震災

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 オリンピック、パラリンピックの扱い】(現代文A)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方(本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
教出	302	現代文A 青春文学名作選 —歴史の中の青春	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	本文	6随想二「人生」芥川龍之介	P86に、「人生は狂人の主催になったオリンピック大会に似たものである。」との記載がある。
三省堂	303	現代文A	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
大修館	304	現代文A	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	写真	I 2ことばと文化「排球、そして千利休」川上弘美	P21に、ロンドンオリンピック女子バレーボール準決勝日本対ブラジル戦の写真が掲載されている。
東書	306	現代文A	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	本文、脚注 巻末年表	東京オリンピック 日本 近代 現代 文学史年表	35ページ目。1964年開催のオリンピック東京大会 一九六四 東京オリンピック
第一	307	高等学校 改訂版 新編現代文A	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	本文、脚注 巻末年表	東京オリンピック 近現代文学史年表	82ページ目。1964年開催のオリンピック東京大会 一九六四 第十八回オリンピック東京大会

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(現代文A)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
教出	302	現代文A 青春文学名作選 —歴史の中の青春	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の手引き」において、話し合いをしたり紹介文を書いたりする指導を配置している。</li> <li>・小説単元ごとに「読書案内」を設けて、教材に関連する小説作品の読書へと導いている。</li> <li>・文学的な文章教材において近代以降の文語文を取り上げている。</li> <li>・随想編、小説編、評論編、詩編、短歌編の構成となっている。</li> </ul>
三省堂	303	現代文A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章に「日本語エクササイズ」、「表現ブラザ」として言語文化の基礎知識の学習や表現活動を行う学習が設定されている。</li> <li>・各章末に「文学の名作」と題した項目を設け、日本近代文学作品の冒頭が11編(詩歌1編含む)紹介されている。</li> <li>・各章の冒頭に「文章を視写しよう」と題した、新聞のコラムを書き写す学習が設定されている。</li> <li>・5章からなり、各章が、文章教材による「読むこと」の学習と、言語文化の基礎知識の定着を図る学習、言語活動・読書活動に関する学習とで構成されている。</li> </ul>
大修館	304	現代文A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言語文化の窓」というページを設け、外来語・漢語、慣用句、色のイメージ、敬語に関する学習を設けている。</li> <li>・各単元の扉に「読書の窓」という項目を設け、各単元の内容に関連する書籍を紹介している。</li> <li>・詩歌編において、翻訳詩を教材として取り上げている。</li> <li>・「随想・評論編」、「小説・詩歌編」の構成となっている。</li> </ul>
東書	306	現代文A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材末に「表現と言語活動」という項目を設けるとともに、「言語活動編」として複数の教材を掲載することで様々な言語活動の具体例を提示している。</li> <li>・巻末に「読書案内」を配置し、教材として取り上げた作者の他作品を紹介することで読書を促している。</li> <li>・文学的な文章の中で文語詩を取り上げるほか、「言語活動編」においても文語詩や翻訳について取り上げている。</li> <li>・小説・詩歌編、随想・評論編、言語活動編、附録の構成になっている。附録には文学的な文章、説明的な文章がそれぞれ掲載されている。</li> </ul>
第一	307	高等学校 改訂版 新編現代文A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材末に「言葉と表現」という項目を設けるとともに、「言語活動」を二編配置することで様々な言語活動の具体例を提示している。</li> <li>・巻頭に「読書のしるべ」を配置し、教材として取り上げた作者の他作品を紹介することで読書への関心を促している。</li> <li>・文学的な文章の中で文語詩を取り上げるほか、言語活動において、文語詩を取り上げている。</li> <li>・説明的な文章と文学的文章が2から3編ずつ交互に掲載され、説明的な文章はテーマごとにまとめて掲載されている。</li> </ul>